



一家門の譽れ

二田原部隊長 生家の喜び

稀な兄弟思ひ

師が
る
飯淵中隊長の横顔
は中隊長の横顔、次のやうに
「飯淵君は昭和四年から
ばで研究してゐるのによ
てゐます。あの人がそん

水まで被る熱心さ

小磯さん 部分防訓視察

親切週座談會

石破などは「田中三郎義典」から幾多の方角めがて歌ふ、**額**
れたたふとこの聞はるを
私招けてゐるのは、番附で
あるのであります。次相留へ
お招きする用事に、就に入れて致さ
なければならぬと思ひます

か幾多の方角めがて歌ふ、**額**
を舞ふたと此の時より又番者着
ちに懸け出されるやうな一丁
に懸け出されるやうな一丁
れにせよ公衆射し、敵面になる
ことが必要でないかと思ひます

平田百貨店 さつす。
一座師と臨んで出る行けるが度
は座師の出来る、出て行くを見て
ビスケットを出す今迄ある
かつたお替りがドツと變つて来こ
う

簡井課長 今の彫刻と非
彫に目づくには彫く彫物と
雷にぞろ彫物をつけてあること
これは乃々方違ふ、今回のくま

またく降焼又

氣をつけて欲しい官廳の窓口

……が……

平田百貨店　毎日来る人
がつたのと思ひながら来ると、
あると斷つてのめあきなりで
さうする人の来ないでか
らを使つて賣出して来るのです

波田總長　シヤやと荷籠を
街裏へ運ぶのはさういふ手
では出来ませんものね

れを買のですが、そのに謝金
人があつたんです。私腹で
づつてゐるものを附だに宛へ
つまみ出すてをりです

丁子屋　私の方では要緊
で理へられる「法」を寫して
をります。つまり客の顔を見
れど致せて、ついでに、明の祈
聞にて、役員がないといふ處に

謝金といふ題目が鄭である
からそれでは目録しとのと
かからのよ、目録しとのと
ます。次に此の運動は大體
は鄭だとして以下には、
鄭が起つてゐるのではないかと
鄭に如何に叩きつけるかの
大きな問題である。然しこれ

安くなる鮪

[illegible]

軍國の父の赤誠

[illegible]

丸 鬪 奮

下痢・腹痛
健胃整腸剤

教授グルー
に検事側控

東京電話「東京地方裁判所で
では去る廿四日行はれた地方
所の判決で無罪となつた人民
派事件休養東大教授大内兵衛
同助教櫻村義太郎」元法

五名に對して、嚴事控訴
警告控訴は山川内（く）

交通従業員
再教育來月一
日から十日間

に振舞をなし一般乘客か
らとなつてゐる電車、自

せしめることによつて戰時下
盛戰士の擔ふ賣筋の如何に大で
あるかを自覺せしめるため京畿道
では初の試みとして京城府

この修練會は九月一日
間杏堂間の京鐵道自動
で開催し参加者は國民

程度の學力をもつ電車、自動車の運轉手その他交通事業の策に立つ壯年者であつて訓練は教養科目は修身、宗教、國語、交通事故防止に關する話から法規、構造學、代燃取

關係者が當ることにな
なほ、新聞會は毎日午前六
時三十分より一〇時五

入所させ余の病室所寄宿舍に收
居を共にさせるもので毎月二
つ開謝の儀定である

される第二回青壯年國民

を前に各黨國派を通じ常會その
適當な機會を選んで國民登錄の
旨を徹底せしめ正確な申告を要
するやう廿九日各道縣監宛通牒

文化雜誌『國民文學』

聞く牛島學生會に募集したと
三百四十七人の多數の應募あ
選の結果、櫻井作五郎と佳作
蔵を得たので廿九日午後三時
ら總務事業會館で本附から本

者氏名は左の通り

生瀨道忠▲三朝日藩南屋
眞山壽榮▲四朝日京畿中學
生石村光▲五朝日開成府元
山勝義

醫學博士 山田岡允賢
ました「個性美白露」へク
その性能が強くどんな可

の黒の人は色白くなるの
くわしい説明書無代送是東京
理部發賣、定價普通用一圓廿
五 櫻葉東京二五七〇

其他全布地
 染色専門
 防空用
 代替色黒ンテーカ
 りあ恐るれ、藩は色赤の地震門
 日光染色業社
 京都市東山区二ツ又九
 電話九四七五

好適である。

1000 銭

大日本 麥酒 株式會社

東京・大阪・田邊商店

